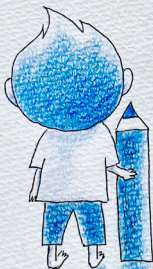




あはいろのたび

≪ 623

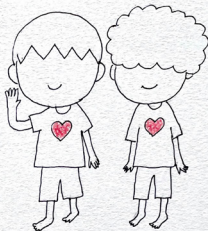


あおいろは、こどくです。



なぜだかわからないけど、
さびしい まいにち です。

ともだちに さそわれても・・・



「あおい、あそぼー」

「いや、いい。」



あおい は だれともあそびません。

...



「なんでー!？」

あおいの こころのなかは
ふくざつです。



「みんなと なかよく したいけど、
みんなと いると、
なぜだか むねの あたりに
あなが あいたみたいに
さびしく なるんだ。」

「たびに でしょう。
だれも しらない どこかへ。」



あおいろは ひとりで
たびに できました。



あおいろは ぎんいろやまの
かもの ぎんいろのもりた
きました。

「なんだか こわい。」

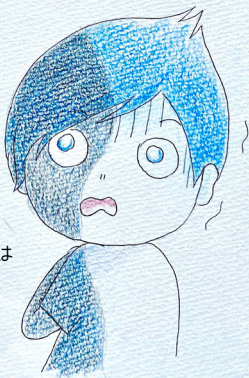
「は、はいっ！」



だれだ

うしろから
だれかが
はなしかけて
きました。

あおいろが
ふりむくと、
そこに
たっていたのは
・・・



ぎんいろやまにすむ
ぎんいろのかみさま
でした。

「えっ！
どうして
・・・」

「お前はあおいろだな。
まっていたぞ。」



ためしよみ

は

ここまでです